

食育活動の支援で学校給食用野菜の供給向上

甲賀農業農村振興事務所農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

甲賀地域では、平成19年度に「甲賀・湖南食育推進連絡会議（以下、「食育推進連絡会議」）」を設立し、学校給食用野菜用として設置する生産ほ場を「食育畑」と名付け、学校給食における地場産野菜の使用率向上を図っています。

今後、学校給食への地場野菜等の供給拡大と児童への食育を進めることが地産地消を活性化させることにもつながることから、農作業体験や食の大切さを伝える「食育畑」活動に取り組む生産者の拡大や、交流会の仕組みづくりとその開催を支援しました。

【普及活動の内容】

「食育畑」を通じた農業者と児童の交流を行う場合、児童を受け入れ可能な農業者と交流を要望する学校教育関係者間における情報共有の仕組みが必要になります。

そこで、当課では管内の野菜生産者に、児童の受入れが可能な「食育畑」への取り組みを働きかけ、それらをリスト化し、交流会を要望する小学校から農業者へ依頼する仕組みを構築しました。また、「食育畑」生産者、郷土料理等の農村文化を伝える「農の匠」、地域で食育や健康づくりを進める「湖南市健康推進員」等、「食育」に関わる多様な関係者との連携をコーディネートし、保育園1園と小学校3校における「食育畑」交流会の開催を支援しました。

【普及活動の成果】

これまでの支援を通じて、「食育畑設置」生産者は37名に拡大し、それに伴って学校給食の地場産野菜の供給率が徐々に増加しています。また、「食育」を推進してきた個人や関係者の「点」の活動が「線」として繋がり、食育に取り組む学校も増加傾向にあります。

今後は、今年度に整備した農作業体験等交流会の仕組みが活用され、食育体験交流会が自発的に継続され、地産地消の一助ともなるよう関係機関と連携を図り推進していきます。



「食育畑」交流会

